

福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」研究協力校オンライン発表会

令和2年12月23日（水）に、「新たな学びプロジェクト」研究協力校6校の研究成果を全県立学校に還元するために、福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」研究協力校オンライン発表会を実施しました。本来であれば、全県立学校から御参加いただき、福岡県教育センターを会場として実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、オンラインでの実施となりました。オンラインによる実践発表やFormsによるアンケート実施など、ICTを活用した形式で実施したことは、「新たな学びプロジェクト」にとっての価値ある前進と考えています。

開会行事では、福岡県教育庁教育振興部高校教育課の中島敦雄主任指導主事から、学校が持つ役割を最大限に果たすために、対面による指導とオンラインによる学習の最適な組合せによって、全ての生徒の可能性を引き出す学びを支援することの重要性について話がありました。

実践発表では、前半・後半から1校ずつ視聴する実践発表を選んでいただき、先生方に御参加いただきました。研究協力校の発表テーマは以下のとおりです。

| | 実践発表校 | 実践発表テーマ |
|----|-------------|--------------------------------------|
| 前半 | A 北筑高等学校 | 「ICTを利用した教科等横断型授業と評価」 |
| | B 糸島高等学校 | 「YouTubeを活用した授業の実践について」 |
| | C 輝翔館中等教育学校 | 「これまでの協同学習等の取組とオンライン授業の実践について」 |
| 後半 | D 小倉東高等学校 | 「ループリックとパフォーマンス課題の活用を通じた授業改善」 |
| | E 光陵高等学校 | 「主体的に学習に取り組む態度および、思考力、判断力を育成するための指導」 |
| | F 直方高等学校 | 「表現力を高める指導方法の改善」～読解力を育成する授業展開の工夫～ |

実践発表後、「新たな学びプロジェクト」が始まった平成27年度からのアドバイザーである福岡教育大学の生田淳一教授に講義をしていただきました。「ICTを活用した『新たな学び』の実現に向けて、学校の教育目標を共有し、各学校の生徒・環境に合った取組を実現するために、教職員全員で挑戦・成長することが大事であり、このような授業改善に取り組むと、発問が磨かれ、カリキュラム・マネジメントが実現する」とお話しいただきました。

閉会行事の福岡県教育センター香野幹治教育経営部長の「ICTは使用するのではなく、『活用』するもの」という言葉は、ICTとの関わりを見つめ直すよいきっかけとなったのではないのでしょうか。

発表会のアンケートでは、実践発表、生田教授の講義、全体会の満足度は全て95%程度の非常に高い数値となっていました。発表会の詳細やアンケートの集計結果は、今後のAL通信でお知らせしますので御期待ください。